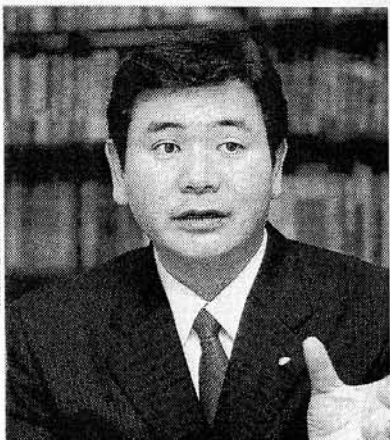


000年(平成12年)7月27日(木曜日)

ビジネスひと生き方

毎日新聞 (夕刊) (第3種郵便物認可)

燃えています



JSコーポレーション社長 米田 英一さん(46)

★生年月日 1954年1月3日★出身地 大阪市★学校 関西学院大卒★家族 妻と1男★経歴 78年9月、前身の情報サービスを創業、85年、株式会社化し社長★好きな言葉 思いは実現する★趣味 旅行、読書

横顔

◆本社 〒530-0001 大阪市北区中崎西2の4  
の12 ☎06-63373-88  
81◆沿革 1978年創業、91年現社名に「専門学

校情報」大学情報などの進学ガイドブック31万6000部(99年度)発行◆関連会社 1社◆グループ従業員 160人◆同年商 36億円

「学生ベンチャーですね。きっかけは。米田社長 大学受験に現役と一浪で挑んで失敗し、やむなく大阪外大の夜間に入ったんです。そこで真、家の仕事をさせてもらったのが始まりです。父は大阪の地下鉄や市バスの中つりなどの交通広告の会社をやっています。その時、地下鉄なんば駅のホームの看板を一つ売る仕事があったんです。100軒回ってやっと一軒注文が取れるような仕事ですが、無我夢中で駅の周辺に飛び込みの営業をかけたら、売れたんです。そして、続いて阿波座も谷町9丁目も南森町も、駅の看板を売ることができたんです。2回も受験で滑ったのし何とかなアカン、両親にも喜んでもらいたい安心してもらいたい、と必死だったんですね。その時思ったんです。

専門学校ガイドで最大級の部数

「創業は順調に。米田社長 いえいえ、最初2年間は赤字でした。実家に帰候して人件費ゼロで計算してもです。でも、正月三が日以外の38日間、一日16時間働いて通しました。一つの仕事を人間の自分もやったらできるんやと。そして自信を持つことができたんです。この19歳の経験が原点です。一方で大学受験もやればできるんだと勉強し直し、関関同立にも通ったんです。そして会社設立に。米田社長 広告の仕事をしたので大学で広告研究会に入ったんです。そして関西学生広告連の代表をやったり、学生広告論で電通賞を受賞したんです。それで、これだったら広告の世界でもやっていけるんじゃないか、と思ったんです。怖いもの知らずだったんですね。就職？ 考えなかったです。小学校のころから父に、人を引っ張っていく楽しさを教わっていたので、小さくても自分の会社を持つことに決めました。米田社長 そうですね。情報誌を作ったんです。「学校教室案内」という名の各種学校のガイドブックが最初です。当時、駅の売店に住宅や就職などの情報誌はあったんですが、学校関係がないので置いてもらうことを考えました。「教室案内」の生徒募集広告を取るのに一日20校、15000校位回ったり、一方で売店の経営者の所に日参しました。

19歳で得た自信を原点に

時代起 関学大に

「ホームページも積極的。米田社長 4年前に立ち上げたホームページを8月に「日本の学校」(http://www.js-school.com)の名でリニューアルしました。そこに、大学から幼稚園まで8万6548校の情報を載せます。これを通して資料請求し入学したら、抽選で10万円が100人に当たる奨学金を用意しています。今後の事業展開は。米田社長 ガイドブックでは専門学校を掲載する地域をさらに増やし、専門学校に比べるべし少ない大学・短大の掲載校数を増やすことです。また、ホームページでは掲載校数と奨学金などのプレゼントで日本一を目指します。思想家の故中村天風さんと京セラ創業者の稲盛和夫さんに引かれているんですよ。米田社長 人間も宇宙とともに成長発展する、という天風さんの前向きな考えに勇気づけられています。また、(稲盛さんが塾長の)盛和塾に入塾し、稲盛さんにいま師事しています。「思いは実現する」は稲盛さんの言葉で、19の時思った一やればできる」に通じる所があるんです。

「大学受験で挫折した19歳の時、父親の仕事を手伝ったのが学生ベンチャーとして大阪で会社を興すきっかけになった。いまでは会社は、高校生向け進学ガイドブックで専門学校分野では国内1、2の発行部数を誇る規模に成長した。広告を通じて事業拡大に力ける創業者社長は、一方で、尊敬する思想家、故中村天風氏の本を持ってTシャツ、ジーンズ姿で海外旅行をするのが趣味という。

「成功した理由は。米田社長 きつろとした仕事を継続させたことが実です。だとそれと、一点集中主義です。まず関西の専門学校の分野で一番になる。次は西日本というやり方です。創刊5年後で首都圏進出も果たし、今年3回、それぞれ東日本版と西日本版を刊行し、国内最大級の部数の専門学校ガイドになりました。

「いつから軌道に。米田社長 6年目に創刊した高校生向けの無料ガイドブック「専門学校情報」からですね。きっかけは、当時 ある社が大学から専門学校までを網羅した高校生向けガイドを出していたのをヒントに、比較的募集広告費がある専門学校に絞れないかと思っただけです。同種本では日本で初めて宅配も始めました。